



2019年11月1日発行
(毎月1回1日発行)

カトリック谷山教会

891-0113
鹿児島市東谷山2-33-13
TEL 099-268-2084
FAX 099-284-5738

E-Mail: taniyama-cc@lagoon.ocn.ne.jp URL: <http://www5.ocn.ne.jp/~tycc/>

発行人： 頭島 光 神父 編集委員： 太田勇二郎 岸誠之助 上原敬子 上釜照美

「キリストに結ばれて死す」

11月は教会の典礼歴では、死者の月とされています。死に対する間違った考えがあります。それは死がすべてのことの終わりだと思っていることです。そのように考えている者は、死が恐怖となります。死によってあらゆる夢は打ち砕かれ、絆や人との関係も壊れ、未来への希望も終わると思いついでいるからです。果たして死は本当にその人の命の最終端と言えるのでしょうか？

◆未来への希望

もしこの世界にある物、この目に見えるものだけが存在しているのであって、過去も未来も何もないということなら、確かに死は怖いものなのかもしれません。しかし、私たちの心には記憶があります。それは風化して無くなってしまふものですか？未来には初めから何もないと言えますか？未来があるから、希望が見えるから、人は生きているのではないのでしょうか？実際、私たちはこの世の事柄だけを見て、自分の利益のことだけを見て生きていくものですか？

◆死の意味

人の死に決して無駄なことは何一つなく、必ず意味があるものです。私の一人の親せきが若くして亡くなりました。まだ60にもなっていませんでした。彼はその年まで独身でした。会社では部下から慕われていて、信頼できる人でした。彼の母は私の従妹で、原因不明の痛みを膝に抱えていて、よい治療法もなく困り果てていました。しかし、息子の突然の死の後、不思議に足の痛みが消えたというのです。彼女は言いました。息子が痛みを持って行ってくれたと。

◆苦しみの意味

キリストの苦しみは神の愛の頂点にある救いの神秘です。苦しみを自分から背負う人は誰もいません。しかし、イエスは私達を苦しみから解放するために、自ら十字架を背負われました。そしてまさに十字架上で死を通して、永遠の命への道をお造りになりました。死と苦しみの意味はイエスの十字架によって、完全に書き換えられたのです。それに準じて、人の死の意味も変わったのです。このイエスの命に結ばれて生きているのですから、人生が死をもって終わることはありません。



◆教会の祈り

教会は祈ります。「死を悲しむ者も、とこしえの命の約束によって慰められます」と。この私の命も、あなたの命も、いまやキリストとともに新しく生きる者とされました。復活の命へと向かって生きているのです。それは神と共に永遠に生きる命であり、顔と顔を合わせて神である主を仰ぎ見る瞬間です。死ぬ時、人は神と結び合わされ、美しく輝き、光と愛と優しさに包まれて、ありのままに主を見ているのです。

今月の聖人から

ザカリアとエリザベト

11月5日



ルカ福音書は、エリザベトとザカリアが「二人とも神の前に正しい人で、主の掟と定めを全て守った」と書いている。しかし彼らの一つの悲しみは、子がなく既に年をとっていたことであった。ザカリアが祭司の務めをしていた時、大天使ガブリエルが現れて、エリザベトが子供を産むことと、その子にヨハネと名付けることを告げた。ザカリアは大天使の言葉を容易に信じられなかったため、予言が成就されるまでは口が利けなくなってしまった。

ヨハネ(洗礼者ヨハネ)が誕生してから八日目

に、親類や近所の人々が幼子に割礼を施し、父の名をとってザカリアと名付けようとしたが、エリザベトが反対しザカリアもまた板の上に「ヨハネ」と書いた。するとザカリアの口が開け、ものが言えるようになって、「主はその民を訪れて解放される。この子はいと高き方の予言者と呼ばれ、主に先立って行き、その道を整える」と言って神を賛美した。

後の伝承によると、ザカリアはヘロデ王に自分の息子の所在を明かさなかつたため、神殿で殺されたという。

レジオ・マリエからのご報告

台風19号により被害にあわれた方々のために 神様の愛が沢山そそがれますようにお祈り申し上げます。レジオ・マリエは、ほんのわずかですが、被災地の方々のため使っていただけますように カリタスジャパンへ2万円送金いたしました。

典礼一口メモ

<聖書の朗読>

聖書の朗読は常に福音書との関連で結ばれています。つまり旧約で言われていることは新約で完結するように選ばれているということです。従って聖書の箇所を選ぶときは分かり易く短い箇所が選ばれ読まれているのです。説教はそれに従って準備されるべきで



あって、司祭の重要な務めとされます。み言葉は私たちを超えて出ていて、真理を指し示すものです。ですから、つねにみ言葉に聞くとき、謙虚にかつ素直な心で感じ取ることが求められます。信徒も司祭もみ言葉の伝達者であり、僕(しもべ)に過ぎないのです。神に仕える者としてみ言葉に聞き従う恵みを願いましょう。

フロバモラという共同体を訪問する

教会における私たちの使命は信仰の喜びを分かち合うことです。より具体的に言いますと、主イエスキリストの弟子への招きに熱心に留まるために、お互いを訪問することです。洗礼による神様の招きは私たち個人に対するものですから、「私たちは慈しみ深い神様への信仰の、喜びの証人である」ということを大切しなければなりません。この言葉は、2019年10月27日に聖ローレンシウス教会でのフロバモラという共同体を訪問した際、クラレチアン修道院のクリス神父様によってミサの中で伝えられました。フロバモラの活動の主なテーマは「洗礼を受けの弟子として派遣される」です。洗礼を受けたすべての人々が、福音の喜びの証人として、また、その喜びを多くの人々にもたらず者として派遣されるという信者の使命を、深く心に受け止めるようになることを目的していました。神様の偉大さと慈悲を、より具体的に多くの人々と分かち合うために、洗礼を受けた人々が神様により遣わされるのです。その簡単な方法の一つは、へりくだる心を持って、お互いに時間をかけて訪れ合うことです。

この活動は、それに関わった人々にとって非常に思い出深いものとなったようです。参加者の一人であったグレイスさんは、「私たちはこのような共同体としての活動に参加できることを非常に嬉しく思います。この活動によって、私たちのそれぞれの使命に合わせて教会への奉仕の精神に燃え、生き生きとすることが出来ました。信徒として私たちは、ためらうことなくいつも司祭と修道者たちに協力することが出来るよう願っています」と言われました。



皆さん 全ての祈りや聖餐を祝う時、主イエスキリストは私たちの心を訪れて下さると信じていることでしょう。ですから、福音の喜びを地上に映し出し、そこに喜びと平和を築いていくために、どのような道を歩むにせよ、主イエスキリストに従って、時間をかけてお互いを訪問しましょう。そうすることで、私たちは福音の喜びを実現する神の子の幸せに生きることが出来ます。そして、主イエスキリストの名によって、そこに確かな新しい希望が生まれ、かたくなで疑いに満ちた信仰は輝き出し、愛が深まるのです。これからもこの世界に、特に私たちの教会生活の中で、喜びと平和を造り出していくための努力を続けていくために、絶えざる御助けの聖母と共に、神様の豊かな恵みと導きを祈り求めたいと思います。

令和元年度(2019年)第7回 司牧評議会の報告

2019.10.27 ミサ後開催

【審議事項】

1. バザーについて最終確認

1) 日程 11月10日(日) ミサは9:30～ バザーはミサ後～14:00まで。

・設営は11/9(土)時間10:00～ 班長さんの参加をお願いします。

2) テーマ :「被災地のためのチャリティーバザー～ひとつになろう～」

3) 収益金の使途について・・・昨年度は収益の60%を被災地支援へ、残りを教会。今年度も同様の予定。

4) 各班の取り組み、販売品目

1班 炊込みご飯とみそ汁、唐揚げ、手作り品 2.3班 赤飯、きんぴらごぼう 4班 カレー、野菜販売5.11班 ぜんざい 6班 うどん、焼鳥 7班 手作り品、はぎれ、花・野菜の苗8.9班 コーヒー・紅茶ケーキセット、フランクフルトソーセージ 10班 抹茶セット シスター 手作り品ラサールロザリオ会 ロザリオ作り 教会学校 ゲーム

5) 提供品について・・・販売担当は昨年と同様 各班一人ずつ協力者を出し6名で行う

・収集は10/13～11/8まで。新品(きれいなもの)を出して下さい。

・値段付けは11/8(金)13:00～

6) 係・・・ポスター作成は教会学校。食券作成は岩崎さん。お茶の係は昨年同様各班2名ずつ交代で行う。

駐車場は幼稚園と教会です。係は岸さん、増田さん、平田さん。看板作成は林さん。

7) その他

・食べ物の取り扱いは衛生管理に注意し、手洗いを良く行い、マスク、手袋を着用し調理して下さい。

・食品が冷める時に菌は繁殖するので、途中、冷まさないことが肝心です。以上、厳守しましょう。

・苗などの土ものには、菌が付着している事があるので、食品と一緒に取扱わないで下さい。

8) 食券販売は10/27(日)～当日

9) 会計より・・・純利益のみを提出。現金売りのない班は材料費を請求して下さい。会計は当日のみです。

10) 各班ゴミの持ち帰りの協力をよろしくお願いします。

【日程のお知らせ】

10月27日(日) 9:00 主日ミサ後～司牧評議会

10月30日(水) 19:00 ミサ後～求道者勉強会④

11月1日(金)初金 19:00 諸聖人の祝日ミサ

11月2(土) 19:30～ おはら祭り前夜祭 *参加される方は法被自参/ザビエル教会集合時間18時

11月3日(日) 11:00 命日祭ミサ in やすらぎドーム

11月10日(日) 9:30 主日ミサ後、10:30より「教会バザー」開始

11月11日(月)～14日(木) レデンプトル会の会員集会と総会【司祭留守】*火曜から木曜のミサは無し

11月17日(日) 12:30～ 受付、14:00～レオ七右衛門殉教祭ミサ in 川内教会(～15:30)

11月23日(土)～24日(日) 訪日教皇ミサ・ツアー

11月27日(水) 19:00 ミサ後 典礼委員会

12月1日(日) 9:00 主日ミサ後～司牧評議会

【報告事項】

・財務より・・・2017年～2019年10/20現在の施設設備修繕費報告。現状、特別寄付金が減少してきている。

【その他】 神父様より⇒駐車場の整備として教会庭側奥の芝の上に軽4台が入るよう整備したいがどうか。

カトリック谷山教会
(以上、話し合われた承されました)

令和元年 谷山教会 11月の予定と祝日表 (11/1~11/30) 西暦2019年

日時	典礼 と 行事	朗読奉仕	掃除	班会等
11月1日 (金)	祭日 諸聖人 19:00 初金ミサ			
2日 (土)	死者の日 19:00 年間第31主日のミサ		⑧⑨	⑧⑨掃除後教会
3日 (日)	6:30&9:00 年間第31主日	㊦ 祝日(文化の日)	1-上釜・2-上原	
4日 (月)	記念日 聖カロロ・ホルメオ司教 6:30 朝ミサ	㊦ (振替休日)		
5日 (火)	6:30 朝ミサ			
6日 (水)	19:00 召命ミサ			
7日 (木)	6:30 朝ミサ			
8日 (金)	6:30 朝ミサ			
9日 (土)	祝日 ラテラン教会の献堂 19:00 年間第32主日のミサ		⑩	⑩掃除後教会
10日 (日)	6:30&9:30 ミサ後 年間第32主日 教会ハサ-		1-増田あ・2-岸は	
11日 (月)	記念日 聖マルチノ(ツール)司教 朝ミサなし			
12日 (火)	記念日 聖ヨサフト司教殉教者 朝ミサなし			
13日 (水)	朝ミサなし			
14日 (木)	朝ミサなし			
15日 (金)	6:30 朝ミサ			
16日 (土)	19:00 年間第33主日のミサ		①	①掃除後教会
17日 (日)	6:30&9:00 年間第33主日		1-村山・2-増田	
18日 (月)	6:30 朝ミサ			
19日 (火)	6:30 朝ミサ			
20日 (水)	19:00 召命ミサ			
21日 (木)	記念日 聖マリアの奉献 6:30 朝ミサ			
22日 (金)	記念日 聖セシリアおとめ殉教者 6:30 朝ミサ			
23日 (土)	19:00 年間第34主日のミサ	㊦ 国民の祝日(勤労感謝の日)	②③	②③掃除後教会
24日 (日)	祭日 王であるキリスト 6:30&9:00 年間第34主日	(長崎教皇ミサ)	1-岸・2-當	
25日 (月)	6:30 朝ミサ			
26日 (火)	6:30 朝ミサ			
27日 (水)	19:00 召命ミサ			
28日 (木)	6:30 朝ミサ			
29日 (金)	6:30 朝ミサ			
30日 (土)	祝日 聖アンデレ使徒 19:00 年間35主日のミサ		④	④掃除後教会

奉納は掃除当番班が行う
十一月の行事当番は四班

ロザリオの祈り	[毎週(火) 10:00]	5日、12日、19日、26日
レジオ・マリエ	[毎週(水) 14:00]	6日、13日、20日、27日
聖書と教理-I	[毎週(木) 15:00~16:30]	7日、14日、21日、28日
聖体礼拝	[毎週(木) 13:30~14:30]	14日、21日、28日 (7日はザビエルで7:00)
聖書と教理-II	[毎週(金) 9:00~10:00]	1日、8日、15日、22日、29日